

FTP Client for HIME

fHime
操作手引書

Copyright (C) 2008 HIROTAKA YAMASHITA.
All Rights Reserved.

2008-06-10

Copyright © 2008 HIROTAKA YAMASHITA

本書に記載されている企業名，団体名や製品名などはそれぞれの権利帰属者の商標または商標登録であり所有物です。

なお，本書では“TM” 及び “®” は明記していません。

目次

第 1 章	イントロダクション	2
1.1	fHime は、何をするソフトウェアか？	2
1.2	実行環境	2
1.3	インストール	2
1.4	ライセンス	2
第 2 章	基本操作	8
2.1	fHime の起動と終了	8
2.2	ホストの設定	8
2.3	ホストへの接続	11
2.4	ホストの切断	11
2.5	fHime で使用できる FTP コマンド	12
第 3 章	FTP コマンドの使い方	13
3.1	LIST コマンド	13
3.2	CWD コマンド	14
3.3	PWD コマンド	15
3.4	MKD コマンド	15
3.5	RMD コマンド	16
3.6	TYPE コマンド	16
3.7	DELE コマンド	17
3.8	RNFR コマンド、RNTD コマンド	18
3.9	RETR コマンド	18
3.10	STOR コマンド	19

第1章 イン트로ダクション

1.1 fHime は、何をするソフトウェアか？

fHime は、世間によくある FTP クライアントとよばれるソフトウェアです。ただし、一般の FTP クライアントとは異なり、CUI と GUI の中間のようなインタフェースを採用しています。つまり、ある程度 FTP のコマンドを意識し、ただ、それらを GUI のボタンベースあるいはメニューベースで指定できるようになっています。

ただし、すべての FTP コマンドに対応しているわけではありません。最小限のコマンドを通して FTP の基本的な学習をすることを目的としています。より便利な機能を持ったクライアントは他にもたくさんありますから、学習が終われば、それらのソフトウェアも試してみてください。

1.2 実行環境

fHime は、プログラミング言語 Java によって作られています。よって、オペレーティング・システムの影響を最小限に留めることが可能です。事実、iHime の開発は Apple 社の Mac OS X 10.4 の上で作成され、主に Windows XP の元で使用されています。

ただし、Java の実行環境による影響は受けてしまいます。具体的には、Java 実行環境 (Java Runtime Environment:JRE) のバージョンが 1.4 以上のものを使用してください。

また、fHime 本体は、Java の実行ファイルを圧縮した JAR 形式で提供していますので、拡張子 .jar が JRE 以外のソフトウェアに関連付けられている場合 (特に Windows 系 OS の場合)、正常に起動できないことがあります。その場合は、関連付けを変更してください。

1.3 インストール

fHime のインストールは、とても簡単です。つぎのファイルを適当なディレクトリにコピーするだけです。

fHime.jar

また、iHime は非常に小さなソフトウェアですから、コンピュータ上のハードディスクでなく、USB メモリのような持ち運びのできるものに入れることもできます。

1.4 ライセンス

iHime は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスにより、ライセンスされています。クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの内容に関しては、つぎの URL を参照してください。

<http://www.creativecommons.jp/>

では、つぎに利用許諾条項を掲載しておきます。



アトリビューション—ノンコマーシャル—シェアアライク 2.1
(帰属—非営利—同一条件許諾)

クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは法律事務所ではありません。この利用許諾条項の頒布は法的アドバイスその他の法律業務を行うものではありません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、この利用許諾の当事者ではなく、ここに提供する情報及び本作品に関しいかなる保証も行いません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、いかなる法令に基づこうとも、あなた又はいかなる第三者の損害（この利用許諾に関連する通常損害、特別損害を含みますがこれらに限られません）について責任を負いません。

利用許諾

本作品（下記に定義する）は、このクリエイティブ・コモンズパブリックライセンス日本版（以下「この利用許諾」という）の条項の下で提供される。本作品は、著作権法及び／又は他の適用法によって保護される。本作品をこの利用許諾又は著作権法の下で授権された以外の方法でを使用することを禁止する。

許諾者は、かかる条項をあなたが承諾することとひきかえに、ここに規定される権利をあなたに付与する。本作品に関し、この利用許諾の下で認められるいずれかの利用を行うことにより、あなたは、この利用許諾（条項）に拘束されることを承諾し同意したこととなる。

第1条 定義

この利用許諾中の用語を以下のように定義する。その他の用語は、著作権法その他の法令で定める意味を持つものとする。

- a. 「**二次的著作物**」とは、著作物を翻訳し、編曲し、若しくは変形し、または脚色し、映画化し、その他翻案することにより創作した著作物をいう。ただし、編集著作物又はデータベースの著作物（以下、この二つを併せて「**編集著作物等**」という。）を構成する著作物は、二次的著作物とみなされない。また、原著作者及び実演家の名誉又は声望を害する方法で原著著作物を改作、変形もしくは翻案して生じる著作物は、この利用許諾の目的においては、二次的著作物に含まれない。
- b. 「**許諾者**」とは、この利用許諾の条項の下で本作品を提供する個人又は団体をいう。
- c. 「**あなた**」とは、この利用許諾に基づく権利を行使する個人又は団体をいう。
- d. 「**原著作者**」とは、本作品に含まれる著作物を創作した個人又は団体をいう。
- e. 「**本作品**」とは、この利用許諾の条項に基づいて利用する権利が付与される対象たる無体物を行い、著作物、実演、レコード、放送にかかる音又は映像、もしくは有線放送にかかる音又は映像をすべて含むものとする。
- f. 「**ライセンス要素**」とは、許諾者が選択し、この利用許諾に表示されている、以下のライセンス属性をいう：帰属・非営利・同一条件許諾

第 2 条 著作権等に対する制限

この利用許諾に含まれるいかなる条項によっても、許諾者は、あなたが著作権の制限（著作権法第 30 条～49 条）、著作者人格権に対する制限（著作権法第 18 条 2 項～4 項、第 19 条 2 項～4 項、第 20 条 2 項）、著作隣接権に対する制限（著作権法第 102 条）その他、著作権法又はその他の適用法に基づいて認められることとなる本作品の利用を禁止しない。

第 3 条 ライセンスの付与

この利用許諾の条項に従い、許諾者はあなたに、本作品に関し、すべての国で、ロイヤリティ・フリー、非排他的で、（第 7 条 b に定める期間）継続的な以下のライセンスを付与する。ただし、あなたが以前に本作品に関するこの利用許諾の条項に違反したことがないか、あるいは、以前にこの利用許諾の条項に違反したがこの利用許諾に基づく権利を行使するために許諾者から明示的な許可を得ている場合に限る。

- a. 本作品に含まれる著作物（以下「本著作物」という。）を複製すること（編集著作物等に組み込み複製することを含む。以下、同じ。）、
- b. 本著作物を翻案して二次的著作物を創作し、複製すること、
- c. 本著作物又はその二次的著作物の複製物を頒布すること（譲渡または貸与により公衆に提供することを含む。以下同じ。）、上演すること、演奏すること、上映すること、公衆送信を行うこと（送信可能化を含む。以下、同じ。）、公に口述すること、公に展示すること、
- d. 本作品に含まれる実演を、録音・録画すること（録音録画物を増製することを含む）、録音録画物により頒布すること、公衆送信を行うこと、
- e. 本作品に含まれるレコードを、複製すること、頒布すること、公衆送信を行うこと、
- f. 本作品に含まれる、放送に係る音又は影像を、複製すること、その放送を受信して再放送すること又は有線放送すること、その放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して送信可能化すること、そのテレビジョン放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、
- g. 本作品に含まれる、有線放送に係る音又は影像を、複製すること、その有線放送を受信して放送し、又は再有線放送すること、その有線放送を受信して送信可能化すること、その有線テレビジョン放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、

上記に定められた本作品又はその二次的著作物の利用は、現在及び将来のすべての媒体・形式で行うことができる。あなたは、他の媒体及び形式で本作品又はその二次的著作物を利用するのに技術的に必要な変更を行うことができる。許諾者は本作品又はその二次的著作物に関して、この利用許諾に従った利用については自己が有する著作者人格権及び実演家人格権を行使しない。許諾者によって明示的に付与されない全ての権利は、留保される。

第 4 条 受領者へのライセンス提供

あなたが本作品をこの利用許諾に基づいて利用する度毎に、許諾者は本作品又は本作品の二次的著作物の受領者に対して、直接、この利用許諾の下であなたに許可された利用許諾と同じ条件の本作品のライセンスを提供する。

第 5 条 制限

上記第 3 条及び第 4 条により付与されたライセンスは、以下の制限に明示的に従い、制約される。

- a. あなたは、この利用許諾の条項に基づいてのみ、本作品を利用することができる。
- b. あなたは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズ・ライセンス（例えば、この利用許諾の新しいバージョン、又はこの利用許諾と同一のライセンス要素の他国籍ライセンスなど）に基づいてのみ、本作品の二次的著作物を利用することができる。
- c. あなたは、本作品を利用するときは、この利用許諾の写し又は URI（Uniform Resource Identifier）を本作品の複製物に添付又は表示しなければならない。
- d. あなたは、本作品の二次的著作物を利用するときは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズライセンスの写し又は URI を本作品の二次的著作物の複製物に添付または表示しなければならない。
- e. あなたは、この利用許諾条項及びこの利用許諾によって付与される利用許諾受領者の権利の行使を変更又は制限するような、本作品又はその二次的著作物に係る条件を提案したり課したりしてはならない。
- f. あなたは、本作品を再利用許諾することができない。
- g. あなたは、本作品又はその二次的著作物の利用にあたって、この利用許諾及びその免責条項に関する注意書きの内容を変更せず、見やすい状態でそのまま掲載しなければならない。
- h. あなたは、この利用許諾条項と矛盾する方法で本著作物へのアクセス又は使用をコントロールするような技術的保護手段を用いて、本作品又はその二次的著作物を利用してはならない。
- i. 本条の制限は、本作品又はその二次的著作物が編集著作物等に組み込まれた場合にも、その組み込まれた作品に関しては適用される。しかし、本作品又はその二次的著作物が組み込まれた編集著作物等そのものは、この利用許諾の条項に従う必要はない。
- j. あなたは、本作品又はその二次的著作物を営利目的で利用してはならない。デジタル・ファイル共有その他の手段による本作品又はその二次的著作物とその他の作品との交換は、作品の交換に関連して金銭的報酬の支払いがない限り、営利を目的とするものとはみなさない。
- k. あなたは、本作品、その二次的著作物又は本作品を組み込んだ編集著作物等を利用する場合には、(1) 本作品に係るすべての著作権表示をそのまましておかなければならず、(2) 原作者及び実演家のクレジットを、合理的な方式で、（もし示されていれば原作者及び実演家の名前又は変名を伝えることにより、）表示しなければならず、(3) 本作品のタイトルが示されている場合には、そのタイトルを表示しなければならず、(4) 許諾者が本作品に添付するよう指定した URI があれば、合理的に実行可能な範囲で、その URI を表示しなければならず（ただし、その URI が本作品の著作権表示またはライセンス情報を参照するものでないときはこの限りでない。）(5) 二次的著作物の場合には、当該二次的著作物中の原著作物の利用を示すクレジットを表示しなければならない。これらのクレジットは、合理的であればどんな方法でも行うことができる。しかしながら、二次的著作物又は編集著作物等の場合には、少なくとも他の同様の著作者のクレジットが表示される箇所で当該クレジットを表示し、少なくとも他の同様の著作者のクレジットと同程度に目立つ方法であることを要する。
- l. もし、あなたが、本作品の二次的著作物、又は本作品もしくはその二次的著作物を組み込んだ編集著作物等を創作した場合、あなたは、許諾者からの通知があれば、実行可能な範囲で、要求に応じて、二次的著作物又は編集著作物等から、許諾者又は原作者への言及をすべて除去しなければならない。

第6条 責任制限

この利用許諾の両当事者が書面にて別途合意しない限り、許諾者は本作品を現状のまま提供するものとし、明示・黙示を問わず、本作品に関していかなる保証（特定の利用目的への適合性、第三者の権利の非侵害、欠陥の不存在を含むが、これに限られない。）もしない。

この利用許諾又はこの利用許諾に基づく本作品の利用から発生する、いかなる損害（許諾者が、本作品にかかる著作権、著作隣接権、著作者人格権、実演家人格権、商標権、パブリシティ権、不正競争防止法その他関連法規上保護される利益を有する者からの許諾を得ることなく本作品の利用許諾を行ったことにより発生する損害、プライバシー侵害又は名誉毀損から発生する損害等の通常損害、及び特別損害を含むが、これに限らない。）についても、許諾者に故意又は重大な過失がある場合を除き、許諾者がそのような損害発生の可能性を知らされたか否かを問わず、許諾者は、あなたに対し、これを賠償する責任を負わない。

第7条 終了

- a. この利用許諾は、あなたがこの利用許諾の条項に違反すると自動的に終了する。しかし、本作品、その二次的著作物又は編集著作物等をあなたからこの利用許諾に基づき受領した第三者に対しては、その受領者がこの利用許諾を遵守している限り、この利用許諾は終了しない。第1条、第2条、第4条から第9条は、この利用許諾が終了してもなお有効に存続する。
- b. 上記aに定める場合を除き、この利用許諾に基づくライセンスは、本作品に含まれる著作権法上の権利が存続するかぎり継続する。
- c. 許諾者は、上記aおよびbに関わらず、いつでも、本作品をこの利用許諾に基づいて頒布することを将来に向かって中止することができる。ただし、許諾者がこの利用許諾に基づく頒布を将来に向かって中止した場合でも、この利用許諾に基づいてすでに本作品を受領した利用者に対しては、この利用許諾に基づいて過去及び将来に与えられるいかなるライセンスも終了することはない。また、上記によって終了しない限り、この利用許諾は、全面的に有効なものとして継続する。

第8条 その他

- a. この利用許諾のいずれかの規定が、適用法の下で無効及び／又は執行不能の場合であっても、この利用許諾の他の条項の有効性及び執行可能性には影響しない。
- b. この利用許諾の条項の全部又は一部の放棄又はその違反に関する承諾は、これが書面にされ、当該放棄又は承諾に責任を負う当事者による署名又は記名押印がなされない限り、行うことができない。
- c. この利用許諾は、当事者が本作品に関して行った最終かつ唯一の合意の内容である。この利用許諾は、許諾者とあなたとの相互の書面による合意なく修正されない。
- d. この利用許諾は日本語により提供される。この利用許諾の英語その他の言語への翻訳は参照のためのものに過ぎず、この利用許諾の日本語版と翻訳との間に何らかの齟齬がある場合には日本語版が優先する。

第9条 準拠法

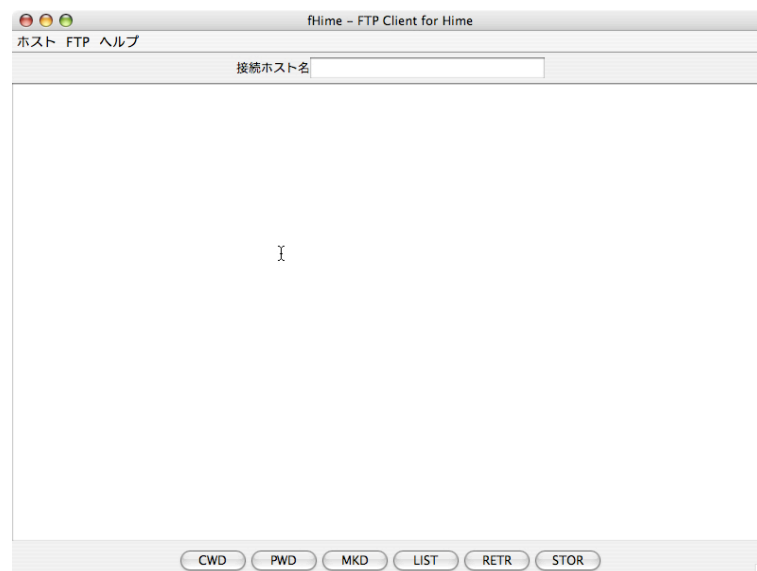
この利用許諾は、日本法に基づき解釈される。

本作品がクリエイティブ・コモンズ・ライセンスに基づき利用許諾されたことを公衆に示すという限定された目的の場合を除き、許諾者も被許諾者もクリエイティブ・コモンズの事前の書面による同意なしに「クリエイティブ・コモンズ」の商標若しくは関連商標又はクリエイティブ・コモンズのロゴを使用しないものとします。使用が許可された場合はクリエイティブ・コモンズおよびクリエイティブコモンズジャパンのウェブサイト上に公表される、又はその他随時要求に従い利用可能となる、クリエイティブ・コモンズの当該時点における商標使用指針を遵守するものとします。クリエイティブ・コモンズは <http://creativecommons.org/> から、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンは <http://www.creativecommons.jp/> から連絡することができます。

第2章 基本操作

2.1 fHime の起動と終了

fHime の起動は、とても簡単です。ファイル fHime.jar をダブルクリックするだけです。正常に起動できれば、つぎのような画面が表示されるはずです。



終了も起動と同じく簡単です。単純にウィンドウを閉じれば終了となります。あるいは、メニューバーを利用して、

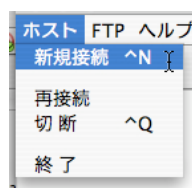
メニューー【ホスト】ー【終了】

としても終了することができます。

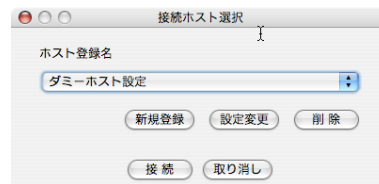
2.2 ホストの設定

FTP を使用するためには、最初に接続先の FTP サーバー（以下、ホストと呼びます。）に関する情報を設定しなければなりません。その手順は、つぎのとおりです。

手順 1. メニューバーから **【ホスト】ー【新規接続】** を選択するか、ショートカットキー「Control + N」を使用します。



手順 2. 接続ホスト選択ダイアログが表示されるので、新しいホストを追加する場合は「新規登録ボタン」をクリックします。



手順 3. ホスト設定ダイアログが表示されるので、必要なホスト情報を入力し、最後に「設定ボタン」をクリックします。



登録名 fHime でのホスト名です。分かりやすい名前を付けてください。

ホスト名 ホストの名前です。例えば、www.ftphost.com や localhost などのように入力します。

ユーザ名 ホストに接続するユーザ名を入力します。

パスワード パスワードを入力します。ここで入力した文字は、すべて隠し文字「*」で表示されます。

初期ディレクトリ ホスト側のディレクトリを指定します。通常は、「/」のみを指定すればいいと思います。

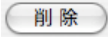
サーバエンコーディング ホスト側のエンコーディングを指定します。指定できるエンコーディングは、「シフト JIS コード」、「JIS コード」、「EUC-JP コード」、「UTF-8 コード」、「UTF-16 コード」の 5 種類のみです。

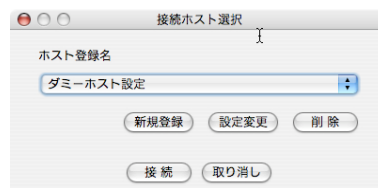
なお、漢字のファイル名やフォルダ名を正常に表示するために必要です。逆に言えば、そういった名前は好ましくないの、半角英数字のみであれば、とくに気にする必要はありません。また、あくまでも表示用のエンコーディング指定であり、ダウンロードやアップロードするファイルのエンコーディングは無関係です。実際には、ダウンロードやアップロードのエンコーディングは、無変換で行われます。

pasv モードを使用する ここにチェックを入れておくと、パッシブモードで転送が行われます。チェックを入れていない場合は、アクティブモードで転送が行われます。

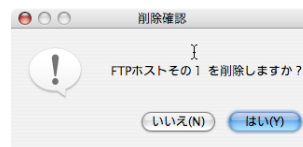
ローカルディレクトリ fHime を動かしているコンピュータの初期ディレクトリを指定します。これは入力欄に手入力でもかまいません。また、「参照ボタン」によって表示されるディレクトリ選択ダイアログから選択しても同様の処理を行うことができます。

以上で、新規ホストを追加することができます。もし、間違って追加してしまった場合には、以下の手順でホストの設定を削除することができます。

手順 1. ホスト設定ダイアログで削除したいホストを選択後、「削除ボタン」  をクリックします。



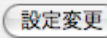
手順 2. 削除確認ダイアログが表示されるので、本当に削除してもいい場合は、「はいボタン」をクリックします。

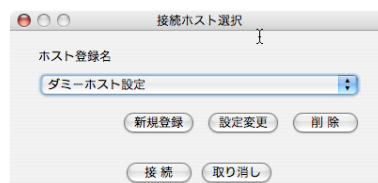


なお、ホスト設定は最低でも1つはなくてはならないので、削除した結果、ホスト設定がゼロになるような削除はできません。また、最初に意味のないダミーの設定が登録されていますが、これもそのためです。

このダミーを削除するためには、新しいホストを1つ以上追加した後ならば、削除可能となります。あるいは、つぎに説明するホストの設定変更によって、設定情報を変更します。

とくに追加することなく、1つのホストしか使用しない場合には、ダミー設定を変更して使用します。また、すでに設定した情報に誤りがある場合や、ユーザ名を変更する場合なども、この設定変更を行います。手順は、つぎのようになります。

手順 1. ホスト設定ダイアログで変更したいホストを選択後、「設定変更ボタン」  をクリックします。




手順 2. ホスト設定ダイアログが表示されるので、変更するホスト情報を入力し、最後に「設定ボタン」をクリックします。

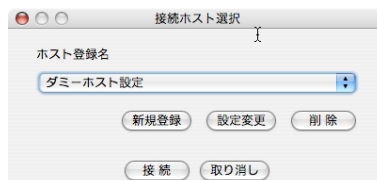


2.3 ホストへの接続

ホストの設定ができたならば、つぎの手順でホストに接続します。

手順 1. メニューバーから **【ホスト】** — **【新規接続】** を選択するか、ショートカットキー「*Control + N*」を使用します。

手順 2. ホスト選択ダイアログが表示されるので、接続したいホストを選択後、「**接続ボタン**」 をクリックします。



手順 3. 正常に接続できれば、つぎのような表示になるはずです。もし、エラーが出る場合には、ホストの設定に誤りがないか、あるいはネットワークの設定に誤りがないか確認してください。

```
ダミーホスト設定 に接続中...
220 localhost FTP server (tnftpd 20061217) ready.
localhost に接続しました。

---->USER *****
331 Password required for yamamac.

---->PASS *****
230-
      Welcome to Darwin!
230 User yamamac logged in.
yamamac にログインしました。

---->CWD /
250 CWD command successful.

---->PWD
257 "/" is the current directory.

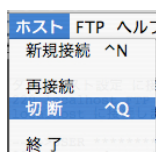
---->TYPE I
200 Type set to I.
```

ただし、実際の表示はホストによって若干違いますので、いろいろ試してみてください。

2.4 ホストの切断

接続したホストを切断する場合には、つぎの手順でホストを切断します。

手順 1. メニューバーから **【ホスト】** — **【切断】** を選択するか、ショートカットキー「*Control + Q*」を使用します。



手順 2. 終了メッセージが表示され、切断されます。

```
---->QUIT
221-
      Data traffic for this session was 0 bytes in 0 files.
      Total traffic for this session was 391 bytes in 0 transfers.
221 Thank you for using the FTP service on localhost.
切断しました。
```

ただし、実際の表示はホストによって若干異なりますので、いろいろ試してみてください。

なお、接続状態のまま。新規接続を行うと、現在の接続を切断後に接続を行います。また、メニューバーから【ホスト】－【再接続】を行うと、現在のホストを切断後、もう一度同じホストに接続します。

2.5 fHime で使用できる FTP コマンド

ホストに接続後、fHime で使用できる FTP コマンドは、以下のものです。

LIST コマンド ディレクトリ情報を一覧表示します。

CWD コマンド カレントディレクトリを変更します。

PWD コマンド カレントディレクトリ名を表示します。

MKD コマンド 新しいディレクトリを作成します。

RMD コマンド ディレクトリを削除します。

TYPE I コマンド バイナリモードに設定します。

TYPE A コマンド アスキーモードに設定します。

DELE コマンド ファイルを削除します。

RNFR, RNTD コマンド 2つのコマンドによりファイル名を変更します。

RETR コマンド ファイルのダウンロードを行います。

STOR コマンド ファイルのアップロードを行います。


このほかにも様々な FTP コマンドがありますが、fHime では、上記のコマンドしか使えません。各コマンドの使い方は次章で説明します。

第3章 FTP コマンドの使い方

ここでは、fHime での FTP コマンドの使い方について説明します。

3.1 LIST コマンド

LIST コマンドは、ディレクトリ情報の一覧表示を行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ディレクトリ情報一覧表示 (LIST)】を選択するか、ショートカットキー「*Control + L*」、あるいは「LIST ボタン」をクリックします。



手順 2. つぎのような形式で、一覧表示されます。ただし、この例は UNIX 系のホストの場合であり、他のホストでは異なる結果が表示されることがあります。

```
---->LIST
150 Opening BINARY mode data connection for '/bin/ls'.
                                total 4
-rw-r--r-- 1 yamamac yamamac    6148 May  1 08:07 .DS_Store
-rwxr-xr-x 1 yamamac yamamac         0 May  5 2005 .localized
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   3430 Oct 29 2007 DetectedQT.js
drwxr-xr-x 4 yamamac yamamac    136 Jan  7 08:56 Site
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   1521 Jun  5 12:37 rss.xml
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac    946 Nov 11 2007 rss20.xml
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   2136 Feb  1 11:44 style.css
-rw-r----- 1 yamamac yamamac         0 Jun  4 16:01 test.html
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   6055 Feb  1 11:45 toshisyun01.html
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac 2039684 Jun  5 12:26 toshisyun01.mp3
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   2214 Jan 21 15:53 toshisyun01.txt
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   7469 Feb  1 11:46 toshisyun02.html
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac         0 Jun  4 22:54 toshisyun02.mp3

226 Transfer complete.
```

ここで、UNIX 系の場合の一覧の見方について、以下の例で簡単に説明しておきます。

```
drwxr-xr-x 4 yamamac yamamac    136 Jan  7 08:56 Site
-rwxrwxrwx 1 yamamac yamamac   1521 Jun  5 12:37 rss.xml
```

ファイルタイプ 先頭の 1 文字目がファイルの種類を示します。記号「*r*」が通常ファイル、「*d*」がディレクトリを意味します。ほかにもいろいろなものがありますが、最低この 2 つを知っていればいいでしょう。

サイズ 1行目の「136」、2行目の「1521」の部分がディレクトリあるいはファイルのサイズを意味します。単位はバイトになります。


タイムスタンプ 1行目の「Jan 7 08:56」、2行目の「Jun 5 12:37」の部分が最後に修正された日時を表します。現在の西暦年と最終修正の年が一致する場合は、「月、日、時：分」の形式で表示されます。また、一致しない場合は、「月、日、西暦年」の形式で表示されます。

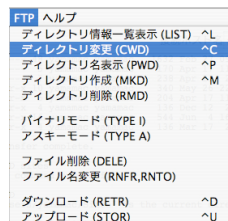
なお、システムによっては、「2008-06-09 18:00」のような形式で表示するホストもあります。

ファイル名 最後の文字列がファイル名になります。また、ファイルタイプがディレクトリの場合は、ディレクトリ名を意味します。

3.2 CWD コマンド

CWD コマンドは、カレントディレクトリの変更を行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ディレクトリ変更 (CWD)】を選択するか、ショートカットキー「Control + C」、あるいは「CWD ボタン」  をクリックします。



手順 2. 変更カレントディレクトリ名入力ダイアログが表示されるので、変更したいディレクトリ名を入力します。ディレクトリの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対ディレクトリ、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対ディレクトリが指定可能です。



手順 3. 最後に「変更ボタン」  をクリックします。

正常に変更できた場合は、つぎのようなメッセージが表示され、変更後のカレントディレクトリ名が表示されます。

```
---->CWD site
250 CWD command successful.

---->PWD
257 "/Users/yamamac/Sites/Site" is the current directory.
```

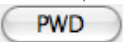
また、変更に失敗した場合は、つぎのようなエラーメッセージが表示され、現在のカレントディレクトリ名が表示されます。

```
---->CWD a
[エラー] 550 a: No such file or directory.

---->PWD
257 "/Users/yamamac/Sites" is the current directory.
```


3.3 PWD コマンド

PWD コマンドは、カレントディレクトリ名の表示を行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ディレクトリ名表示 (PWD)】を選択するか、ショートカットキー「Control + P」、あるいは「PWD ボタン」 をクリックします。




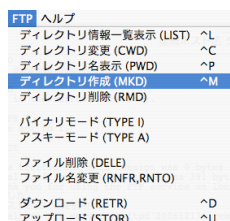
手順 2. カレントディレクトリ名が表示されます。

```
---->PWD
257 "/Users/yamamac/Sites" is the current directory.
```

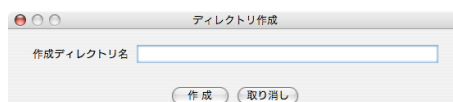
3.4 MKD コマンド

MKD コマンドは、新しいディレクトリを作成します。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ディレクトリ作成 (MKD)】を選択するか、ショートカットキー「Control + M」、あるいは「MKD ボタン」 をクリックします。



手順 2. 新しく作成するディレクトリ名入力ダイアログが表示されるので、作成するディレクトリ名を入力します。ディレクトリの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対ディレクトリ、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対ディレクトリが指定可能です。



手順 3. 最後に「作成ボタン」 をクリックします。

正常に作成できた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->MKD subDir
257 "subDir" directory created.
```

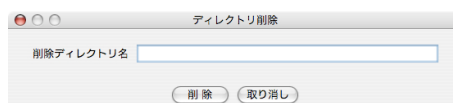
3.5 RMD コマンド

RMD コマンドは、ディレクトリを削除します。

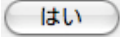
手順 1. メニューバーから **【FTP】** - **【ディレクトリ削除 (RMD)】** を選択します。

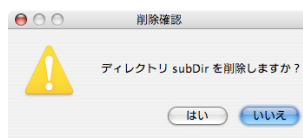


手順 2. 削除するディレクトリ名入力ダイアログが表示されるので、削除したいディレクトリ名を入力します。ディレクトリの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対ディレクトリ、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対ディレクトリが指定可能です。



手順 3. 最後に「**削除ボタン**」  をクリックします。

手順 4. 削除確認ダイアログが表示されるので、削除を続行する場合は、「**はいボタン**」  をクリックします。



正常に削除できた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->RMD subDir
250 RMD command successful.
```

ディレクトリ削除を行う場合、対象ディレクトリは空でないといけません。もし、空でないディレクトリを削除しようとする、つぎのようなエラーメッセージが表示されます。

```
---->RMD subDir
[エラー] 550 subDir: Directory not empty.
```

3.6 TYPE コマンド

TYPE コマンドは、転送モードの設定を行います。fHIme では、バイナリモードとアスキーモードのみに対応しています。

バイナリモードには、つぎの手順で設定します。

手順 1. メニューバーから **【FTP】** - **【バイナリモード (TYPE I)】** を選択します。

手順 2. 正常に設定できれば、つぎのメッセージが表示されます。

```
---->TYPE I
200 Type set to I.
```

アスキーモードには、つぎの手順で設定します。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【アスキーモード (TYPE A)】を選択します。

手順 2. 正常に設定できれば、つぎのメッセージが表示されます。

```
---->TYPE A
200 Type set to A.
```

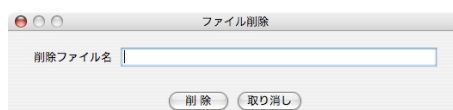
3.7 DELE コマンド

DELE コマンドは、ファイルを削除します。

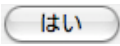
手順 1. メニューバーから【FTP】－【ファイル削除 (DELE)】を選択します。



手順 2. 削除するファイル名入力ダイアログが表示されるので、削除したいファイル名を入力します。ファイルの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対パス、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対パスが指定可能です。



手順 3. 最後に「削除ボタン」  をクリックします。

手順 4. 削除確認ダイアログが表示されるので、削除を続行する場合は、「はいボタン」  をクリックします。



正常に削除できた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->DELE Image166~03.jpg
250 DELE command successful.
```

3.8 RNFR コマンド、RNTO コマンド

RNFR コマンドと RNTO コマンドによってファイル名の変更を行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ファイル名変更 (RNFR,RNTO)】を選択します。



手順 2. 変更元ファイル名、変更後ファイル名入力ダイアログが表示されるので、変更前のファイル名と変更後のファイル名を入力します。ファイルの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対パス、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対パスが指定可能です。



手順 3. 最後に「変更ボタン」をクリックします。

正常にファイル名が変更できた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->RNFR rss20.xml
350 File exists, ready for destination name

---->RNTO rss_2.xml
250 RNTO command successful.
```

3.9 RETR コマンド

RETR コマンドは、ファイルのダウンロードを行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【ダウンロード (RETR)】を選択するか、ショートカットキー「Control + D」、あるいは「RETR ボタン」をクリックします。



手順 2. ダウンロードするファイル名およびダウンロード先ディレクトリを入力するダイアログが表示されるので、ダウンロードファイル名およびダウンロードしたファイルを保存するディレクトリを入力します。

ダウンロード先ディレクトリは、手入力も可能ですが、「参照ボタン」をクリックし、保存先ディレクトリを指定することもできます。

ダウンロードファイルの指定には、カレントディレクトリを基準とした相対パス、ルートディレクトリ「/」から始まる絶対パスが指定可能です。



手順 3. 最後に「ダウンロードボタン」 **ダウンロード** をクリックします。

正常にダウンロードできた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->RETR rss01.xml
150 Opening BINARY mode data connection for 'rss01.xml' (1521 bytes).
rss01.xml をダウンロード中...
226 Transfer complete.
```

3.10 STOR コマンド

STOR コマンドは、ファイルのアップロードを行います。

手順 1. メニューバーから【FTP】－【アップロード (STOR)】を選択するか、ショートカットキー「Control + U」、あるいは「STOR ボタン」 **STOR** をクリックします。



手順 2. アップロードするファイル選択ダイアログが表示されるので、アップロードするファイルを選択します。

なお、ここで表示されるダイアログは、Java 実行環境が動作しているオペレーティング・システムにより影響されます。そのため、複数のファイルを選択する操作は、各オペレーティング・システムの操作を参照してください。ちなみに、Mac では、command キーあるいはシフトキーを、Windows では、コントロールキー、シフトキーを使用します。



手順 3. 最後に「アップロードボタン」  をクリックします。

正常にアップロードできた場合は、つぎのようなメッセージが表示されます。

```
---->PORT 127,0,0,1,193,106
200 PORT command successful.

---->STOR Image166~03.jpg
150 Opening BINARY mode data connection for 'Image166~03.jpg'.
/Users/yamamac/Documents/Image166~03.jpg をアップロード中...
226 Transfer complete.

---->PORT 127,0,0,1,193,107
200 PORT command successful.

---->STOR Image167~03.jpg
150 Opening BINARY mode data connection for 'Image167~03.jpg'.
/Users/yamamac/Documents/Image167~03.jpg をアップロード中...
226 Transfer complete.
```

なお、この例では、アクティブモードなので、アップロードの前に「PORT コマンド」を送信していますが、パッシブモードの場合には、「PASV コマンド」を送信します。